

亘理町立郷土資料館年報

第25号
(令和4年度)



悠里館(東から)

亘理町立郷土資料館

宮城県亘理郡亘理町字西郷 140 番地

電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709

E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年（1994）10月に開館した亘理町立郷土資料館は、令和4年（2022）で28周年を迎えました。

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震では、亘理町悠里で震度6弱の揺れを観測しました。当館でも被害が発生しましたが、これまで4月から開催していた「収蔵資料展」を年明けの2月から3月にかけて開催し、通常の休館日を利用して、破損した収蔵庫の棚16台の入れ替えや、展示室の壁面とジオラマ修繕、展示物の耐震対応などを行いました。

国指定史跡三十三間堂官衙遺跡が平成4年（1992）1月の史跡指定から30周年を迎えたことから、記念の各種事業を行いました。記念展「古代の役所―陸奥国日理郡衙からみる律令時代―」を10月から12月にかけて開催したほか、郷土資料館町民講座「ものしり大学院」において「三十三間堂官衙遺跡を学ぶ」と題して講演会を開催し、遺跡について知る機会としました。さらに、小学6年生を対象とした遺跡に関する「出前授業」実施と、この際に行った、アンケート結果と児童たちが考えた遺跡PRキャラクターの一次選考を兼ねた「キャラクター選出展」を12月から1月にかけて開催しました。その後の選考を経て決定したグランプリ・準グランプリのキャラクターについては、今後各種事業に活用してまいります。

その他展示関係では、夏のテーマ展「みんなで思う、感じる亘理」を8月に開催し、地域おこし協力隊の活動を知る機会として町内外に発信したほか、「亘理伊達家雛人形とつるし雛展」を2月から3月にかけて開催しました。

教育普及関係では、震災伝承施設として、震災から得られた実情と教訓を伝えていくため、震災直後から復興事業完了までの10年の歩みをまとめた映像「わたり復興の歩み」の上映を毎月11日に行いました。また、ゴールデンウィーク期間中は特別開館を行い、「昔のレコードを聴こう！」と題し蓄音機・レコードプレーヤーでのレコード鑑賞を行ったほか、郷土資料館の収蔵資料に関するクイズに挑戦してもらうなどの各種イベントを行いました。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと考えております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和4年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

令和5年7月

亘理町立郷土資料館
館長 齋藤 伸

目 次

1	令和4年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	2
	〔2〕 事務分掌	2
3	展示	
	〔1〕 常設展示	3
	〔2〕 テーマ展示	3
	〔3〕 収蔵資料展示	5
4	教育・普及	
	〔1〕 講座等	6
	〔2〕 学社融合推進事業	7
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	9
	〔4〕 オープンミュージアム	10
	〔5〕 学校教育関連	10
	〔6〕 刊行物等	11
	〔7〕 博物館実習	11
	〔8〕 震災伝承施設事業	11
	〔9〕 その他	12
5	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	12
	〔2〕 寄託資料	13
	〔3〕 常設展示借用資料	13
	〔4〕 資料貸出	14
	〔5〕 その他	14
6	観覧者数の推移	
	〔1〕 令和4年度月別観覧者数	15
	〔2〕 年度別観覧者数	15
7	予算	16
8	職員名簿	16
9	利用案内	17

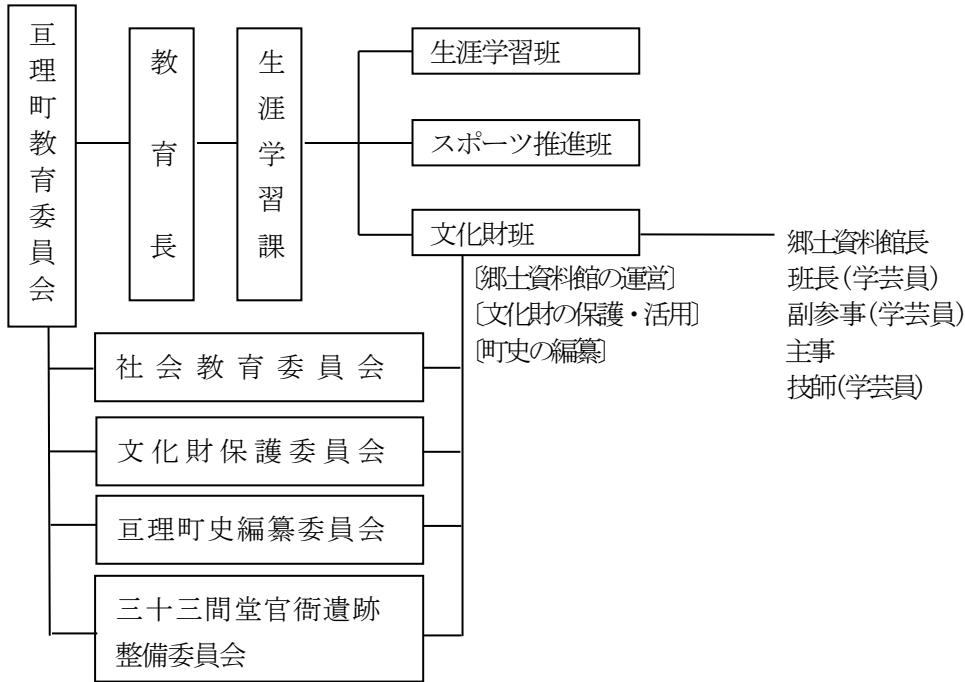
1 令和4年度の主な事業と活動

R 4.	4	広報紙「郷土しりょうかん」第160号発行
	4/1 ~ R 5. 3/31	3. 11から未来へ「わたり復興の歩み」上映会(毎月11日上映)
	4/29 ~ 5/5	ゴールデンウィーク特別開館事業
	5/12 ~ 6/15	文化財めぐり(町内小学6年生対象)
	6/29	宮城県南資料館等連絡協議会総会(柴田町)
	6/29	宮城県博物館等連絡協議会役員会・総会・第1回研修会(多賀城市)
	7	広報紙「郷土しりょうかん」第161号発行
	7/23 ~ 8/21	夏休み教育普及事業「郷土資料館ちよこつと体験」
	8/6 ~ 8/28	夏のテーマ展「みんなで思う、感じる、亘理」
	8/16	「伊達成実霊屋」御開帳スタンプラリー
	8/18 ~ 8/24	博物館実務実習
	8/20	夏休みワークショップ「防災に役立つアイテムを作ろう！」
	9/6	学芸員の派遣 社会科「亘理用水」に関する学習会(逢隈小学校)
	9/10	物作り講座「繭細工体験会」
	9/1 ~ 11/29	出前授業「三十三間堂官衙遺跡を知ろう」(各小学校)
	10	広報紙「郷土しりょうかん」第162号発行
	10/8 ~ 11/27	史跡三十三間堂官衙遺跡国指定30周年記念展 「古代の役所—陸奥国日理郡衙からみる律令時代—」
	11/3	文化の日特別開館「オープンミュージアム」
	11/3	郷土資料館町民講座「ものしり大学院」
	11/9	学者融合推進事業出前授業 学芸員の派遣 社会科「亘理用水」に関する学習会(逢隈小学校)
	12/24 ~ R 5. 1/26	三十三間堂官衙遺跡をもっと知らせよう！もっと広めよう！ キャラクター選出展
R 5.	1	広報紙「郷土しりょうかん」第163号発行
	1/16	「伊達成実霊屋」御開帳 (※月曜日で当館が休館のためスタンプラリーは実施せず)
	1/24 ~ 2/16	出前授業「戊辰戦争と亘理伊達家の北海道開拓」(各小学校)
	2/1 ~ 2/2	宮城県南資料館等連絡協議会第1回役員会・担当者研修会(村田町)
	2/3	宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市) 欠席
	2/9	学芸員の派遣 「逢隈小学校150周年記念の会」(逢隈小学校)
	2/18 ~ 3/19	亘理伊達家雛人形公開・つるし雛展
	2/25 ~ 3/30	第25回収蔵資料展
	3/9	移動しりょうかん「昔の道具とくらし」(高屋小学校)

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

令和4年4月1日現在

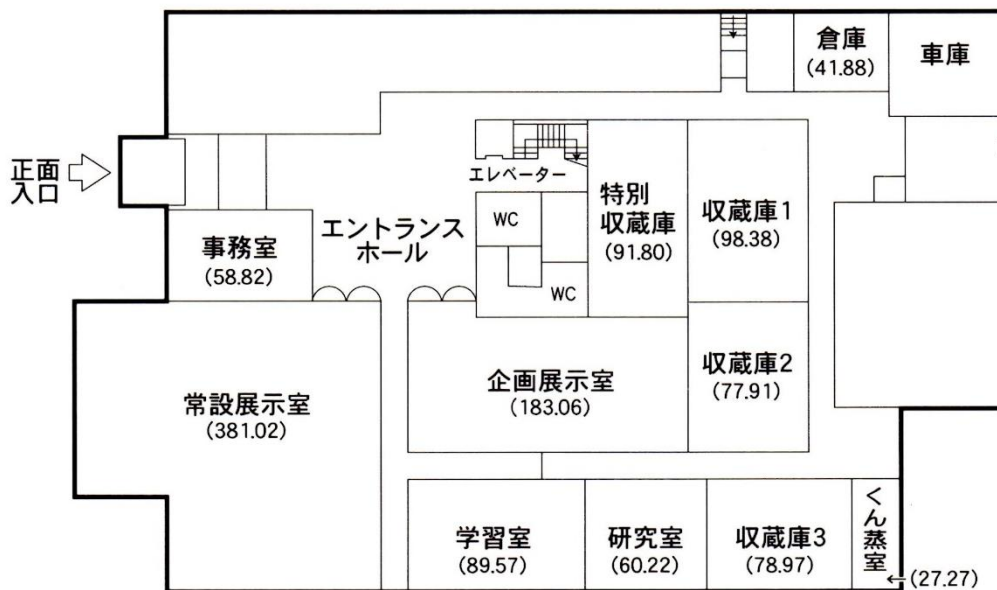


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・
資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

亙理伊達家雛人形公開・つるし雛展

期 間 令和5年2月18日(土)～3月19日(日)
開館日数 25日
会 場 常設展示室、悠里館1階エントランスホール
観覧者数 810人 1日平均 33人(常設展示のみの人数)

【展示内容】

- ◎常設展示室(入口・亙理伊達家コーナー)
輪飾り 2本、石川家伝来亙理伊達家古今雛一对・婚礼調度品6点
- ◎悠里館1階エントランスホール(悠里館出入口)
輪飾り等 20本(鈴木さと子氏借用品、収蔵品)



▲亙理伊達家雛人形とつるし雛

〔2〕 テーマ展示

夏のテーマ展「みんなで思う、感じる、亙理」

期 間 令和4年8月6日(土)～8月28日(日)
開館日数 18日
会 場 企画展示室
観覧者数 714人 1日平均40人
共 催 WATARI TRIPLE[C]PROJECT

【趣 旨】

東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部の鳥の海を中心に「防災から文化を創り出す」をテーマとする「WATARI TRIPLE[C]PROJECT」が始動され1年が経つ。昨年度、この事業を紹介する目的のもとプロジェクトメンバーであり地域おこし協力隊員として活動するアーティストの作品展示会を実施し、好評を得たことで続きを望む声が多く聞かれた。

今回は、アートに限らずプロジェクトの全容の活動を取り上げた。プロジェクトメンバーが亙理町で暮らし、地域住民とコミュニケーションをとる中で感じてきたことや思いを、それぞれの活動を通して伝える機会とし、亙理の魅力を町内外に発信することとした。展示手法として、メンバーの思いを込めた展示品の観覧だけでなく、来場者の思いを共有できるコンテンツを加えた。

【展示内容】

◎防災とアートコーナー

*アーティストと展示作品名

- ・相澤安嗣志 氏…「Delphic construction」、 「void in the sky」 など
- ・久保田沙耶 氏…「GOOD ROCK」
- ・市原えつこ 氏…「空想伝承ラゴ」
- ・カ石 咲 氏…「波のデザイン」、 「波のデザイン編み図1」 など
- ・岩村 寛人 氏…「防潮 Playscape」
- ・キムテボン 氏…「WATARI ROCKET A Man with Crescent Moon」、 「COCKPIT」

◎アスリート・ミュージシャンと互理のコーナー

展示物…アスリート6人の互理での活動の紹介動画、ミュージシャン3人の楽曲試聴

◎みんなが知ってる互理のコーナー

展示物…「続・感情ヒートマップ わたしたちのわたり」

◎防災お役立ちアウトドアのコーナー

展示物…紹介パネル、パラシュートコードを利用したグッズなど



▲久保田沙耶氏作品

【関連行事】

◎オープニングセレモニー 8月6日(土)

- ・ダンス披露 本城祐哉 氏 「you, phantom」
- ・ミニライブ Jhonatan 氏 視聴者28人
島山有希 氏
- ・展示解説会 参加者16人

史跡三十三間堂官衙遺跡国指定30周年記念展「古代の役所—陸奥国日理郡衙からみる律令時代—」

期 間 令和4年10月8日(土)～11月27日(日)

開館日数 41日

会 場 企画展示室

観覧者数 1,235人 1日平均31人

【趣 旨】

史跡指定30周年を記念し、三十三間堂官衙遺跡について周知・理解を図るため記念展を開催した。律令制の統治機構の仕組みや、三十三間堂官衙遺跡の発掘調査成果、遺跡の特徴や役割、互理郡周辺の律令時代の状況について知る機会とした。併せて、令和4年度から整備工事を開始した本史跡整備事業についてや、史跡の保存・活用について展示した。また、会期中には展示内容に関連した講演会を開催した。



▲三十三間堂官衙遺跡調査出土資料

【展示内容】

◎「遺跡からわかること」コーナー

展示導入として、遺跡からどのようなことが分かるのかを知るとともに、町内遺跡の分布や特徴について紹介し、発掘調査の方法や道具について写真や図を用いて説明した。

展示物…発掘調査の道具ほか

◎「古代の役所」コーナー

律令制以前の日理郡周辺の様子、また律令制下の陸奥国周辺の様子について、出土遺物や歴史書の記録などをとおして理解し、中央政府による支配や地域との交流の実態などを説明した。

展示物…町内遺跡出土資料(円筒埴輪、土師器、須恵器、蕨手刀ほか)、仙台市郡山遺跡、多賀城市市川橋遺跡、岩沼市原遺跡、角田市郡山遺跡、南相馬市泉官衙遺跡、山元町熊の作遺跡・涌沢遺跡、谷原遺跡出土資料、宮城県図書館所蔵歴史書(続日本紀、日本後紀ほか)

◎「日理郡衙—三十三間堂官衙遺跡—」コーナー

文字として残る「三十三間堂」について、記録や調査・研究の歴史や伝説などについて紹介し、その名前

の由来や人々によって守られてきた遺跡であることなどを説明した。また、遺跡が良好な状態で保存されており、律令時代の地方支配のようすを知るうえで貴重な遺跡であることを紹介した。

展示物…記録資料（逢隈村郷土誌の記録、広報わたりの調査記事、昭和調査の現地説明会資料ほか）
三十三間堂官衙遺跡発掘調査出土資料（土師器、須恵器、赤焼土器ほか）
宮城県図書館所蔵歴史書（延喜式内社、日本三代実録）

◎「史跡を守り・伝える」コーナー

史跡指定後、町が進めている調査・整備事業計画の紹介に加えて先進地の事例を紹介し、「三十三間堂官衙遺跡として相応しい整備」や「地域で愛される史跡」について考えてもらう機会とした。

◎「その他」コーナー

*三十三間堂官衙遺跡の草花

展示物…写真パネル(草花)

*閲覧コーナー

展示物…調査報告書、整備基本計画書等

三十三間堂官衙遺跡をもっと知らせよう！もっと広めよう！キャラクター選出展

期 間 令和4年12月24日(土)～令和5年1月26日(木)

開館日数 22日

会 場 企画展示室

観覧者数 346人 1日平均16人

【趣 旨】

三十三間堂官衙遺跡が史跡指定30周年を迎えたことを記念して、遺跡への更なる周知・理解を図るために、町内小学6年生を対象とした出前授業を実施した。

出前授業において、遺跡の普及について意見をもらうために行った「三十三間堂官衙遺跡をもっと知らせよう！もっと広めよう！アンケート」を、来館者にも見てもらえるよう展示した。併せて、回答数148点の遺跡PRキャラクターデザインを展示し、来館者による投票を実施し一次選考として15点を選出した。

【展示内容】

遺跡PRキャラクターデザイン、三十三間堂官衙遺跡の説明、出前授業実施の経緯、アンケート結果



▲選出展の様子

〔3〕 収蔵資料展示

第25回収蔵資料展

期 間 令和5年2月25日(土)～3月30日(木)

開館日数 28日

場 所 企画展示室

観覧者数 770人 1日平均28人

【趣 旨】

平成6年10月に亘理町立郷土資料館を開館して以来、収蔵資料は年々充実し、現在では約16,000点の資料を収蔵し、調査研究を進めている。これに伴い、亘理の歴史や文化を考える上で



▲帆掛船模型

重要な資料でありながら、展示テーマや展示場所の制限上公開される機会の少ない資料が増加したため、平成8年度から年度ごとに順次展示公開している。

25回目となる今年度は、平成31年4月から令和2年3月までに収集した歴史民俗資料で、おもなものとして衣食住に関わる資料、小中学校の教育現場で使用された書籍や卒業記念アルバムなど民俗知識に関わる資料のほか、52品目79点の資料を公開した。

【展示内容】

52品目79点の資料を分類項目ごとに展示した。

項目	点数	項目	点数	項目	点数
衣・食・住	7	交易	11	競技・娯楽・遊戯	14
生産・生業	7	社会生活	3	文書・書籍・地図	18
交通・運輸・通信	3	民俗知識	14	軍事・戦争	2

〔5〕 その他

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により郷土資料館常設展示室及び展示資料に被害が発生したため、繰り越し事業として修繕等の対応を行った。

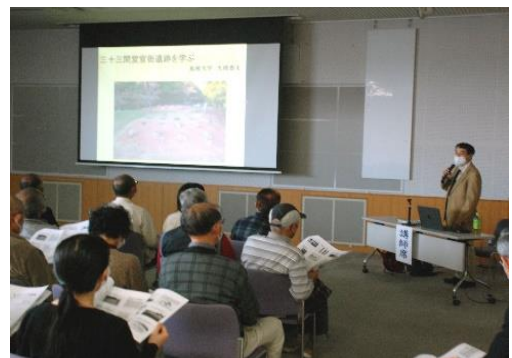
4 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度から開催しているこの事業は、「郷土の歴史と文化」を中心にテーマを設定し、歴史・考古・民俗・自然などさまざまな分野の研究者を講師として招いて講座を開催してきた。

令和4年度は、史跡三十三間堂官衙遺跡の国指定30周年を記念して開催中の記念展関連講座を開催し、官衙遺跡の特徴や役割、周辺遺跡との関わりなどについて学んだ。併せて、令和4年度から整備工事を開始した本史跡整備事業をはじめ、史跡の保存・活用について知る機会とした。



▲講座の様子

- テーマ 「三十三間堂官衙遺跡を学ぶ」
- 日時 令和4年11月3日(木・祝) 午後1時30分～3時30分
- 会場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)
- 講師 大橋 泰夫 氏(島根大学法文学部教授、三十三間堂官衙遺跡整備委員会副委員長)
- 聴講者 89人(事前申込制・定員80人)
- 内容 古代の地方官衙などを研究されてきた大橋氏からみた“三十三間堂官衙遺跡の特徴や価値”などについて詳しく学ぶ機会とした。

2. 夏休み教育普及事業「郷土資料館ちよこっと体験」

普段は見ることはできない郷土資料館展示室で、夏休み期間に様々な体験を行うことで、郷土資料館や町の歴史に対する興味・関心を向上させることを目的として行った。

- 期 間 令和4年7月23日(土)～8月21日(日)
会 場 常設展示室
内 容 ①切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亙理伊達家家紋の切り絵に挑戦
②ぬり絵に挑戦してみよう：わたりんのぬり絵に挑戦
③クイズに挑戦してみよう：常設展示室の展示内容に関するクイズに挑戦

3. 夏休みワークショップ「防災に役立つアイテムを作ろう！」

- 実 施 日 令和4年8月20日(土)
会 場 郷土資料館 学習室
参加人数 10人
共 催 WATARI TRIPLE[C]PROJECT
内 容 防災・実生活に役立つパラシュートコードを編んでブレスレットを作り、様々なロープワークを身につける機会とした。



▲ブレスレット作りの様子

4. 物作り講座「繭細工体験会」

- 趣 旨 繭細工をとおして亙理町の養蚕の歴史を知る
日 時 令和4年9月10日(土) 午前10時～11時30分
会 場 郷土資料館 学習室
対 象 5歳～小学3年生までの親子(祖父母の参加可)
参加人数 5組13人
共 催 わたりっ子を育てる会
内 容 養蚕の歴史の話と繭を使用したパンダ作り



▲熱心に繭細工を作る参加者

〔2〕 学社融合推進事業

平成12年度から行っている事業で、町内小学生を対象に職員が学校に出向くなどして、総合学習や社会科の授業の中で亙理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 移動しりょうかん

「昔の道具とくらし」

- 実 施 校 高屋小学校(家庭科室および廊下)
実 施 日 令和5年3月9日(木)
参加人数 8人(3年生)
内 容 「炭火アイロンがけ」、「天秤棒を使った桶担ぎ」、「洗濯板を使った洗濯」などを体験した。



▲天秤を使って桶を運ぶ児童

2. 出前授業

「三十三間堂官衙遺跡を知ろう」

実施校 各小学校6校(10クラス)

参加人数 262人(6年生)

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
逢隈小学校 (3クラス)	9/1 (木)	9:30 ~12:15	逢隈小学校 各教室	102	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド(パワーポイント)により史跡の内容や当時の日本のようすなどと併せて、文化財の保護や史跡整備についても学んだ。このほか、三十三間堂官衙遺跡の発掘調査により出土した土器を実際に見て触れる機会とした。 ・授業終了後「三十三間堂官衙遺跡をもっと知らせよう!もっと広めよう!」アンケートを配付し、史跡を広めるための発想やPRキャラクターを募った。 ・文化財めぐりの際に、前もって配布していた「訪ねよう 亘理の歴史」を、参考資料として使用し説明した。
吉田小学校 (1クラス)	9/8 (木)	10:35 ~11:20	吉田小学校 教室	17	
高屋小学校 (1クラス)	9/27 (木)	10:35 ~11:20	高屋小学校 教室	12	
荒浜小学校 (1クラス)	10/21 (金)	10:40 ~11:25	荒浜小学校 教室	9	
亘理小学校 (3クラス)	11/10 (木)	9:35 ~12:20	亘理小学校 各教室	101	
長瀬小学校 (1クラス)	11/29 (火)	10:25 ~11:10	長瀬小学校 教室	21	

「戊辰戦争と亘理伊達家の北海道開拓」

実施校 各小学校6校(10クラス)

参加人数 263人(6年生)

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
長瀬小学校 (1クラス)	1/24 (火)	13:30 ~14:15	各小学校教室 (クラス単位)	21	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド(パワーポイント)により亘理伊達家の歴史、戊辰戦争及び伊達家中の北海道開拓について周知理解を図るとともに、郷土の歴史を学ぶ機会とした。 ・実施日について、講座による学習効果を高めるために各担当教諭と日程調整を行い、社会科授業の江戸時代が終了する時期に合わせて実施した。
吉田小学校 (1クラス)	1/26 (木)	10:35 ~11:20		18	
高屋小学校 (1クラス)	1/27 (金)	13:35 ~14:20		12	
亘理小学校 (3クラス)	2/7 (火)	9:35 ~12:20		99	
荒浜小学校 (1クラス)	2/8 (水)	10:40 ~11:25		9	
逢隈小学校 (3クラス)	2/16 (木)	9:30 ~12:15		104	

3. 学芸員の派遣

社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校 2校(6クラス)
参加人数 190人(4年生)

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
逢隈小学校 (3クラス)	9/6 (火)	10:30 ~12:00	逢隈小学校 体育館	90	・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土背負箱)など用水を作った時の道具やジャバラなど農作業の道具を展示した。
亘理小学校 (3クラス)	11/9 (水)	10:30 ~12:00	亘理小学校 体育館	100	・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。

「逢隈小学校150周年記念の会」

実施校 逢隈小学校
参加人数 616人

実施校	月 日	時 間	場 所	内 容
逢隈小学校 (3クラス)	2/9 (木)	9:30 ~10:15	逢隈小学校 (視聴覚室から 全教室に配信)	・逢隈小学校や、逢隈地区に関わる歴史等について講話を実施した。

4. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

- ◎逢隈小学校 民具室(平成15年8月リニューアル)の継続
- ◎荒浜小学校 民俗資料室(平成15年9月新設、平成26年9月1日再開)の継続

〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。連休中の観光スポットの一つとして、家族連れの来館が多く見受けられた。

日 時 令和4年4月29日(金)~5月5日(木)

観覧者数 159人 1日平均27人

内 容

◎チャレンジクイズ

常設展示室内の資料を題材としたクイズ(初・中・上級)に挑戦し、正解した方に郷土資料館オリジナル缶バッジをプレゼントした。

◎「昔のレコードを聴こう！」

1階エントランスホールで、蓄音機・ステレオでレコード観賞を行った(1日3回)。



▲チャレンジクイズに挑戦中

〔4〕 オープンミュージアム

亙理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、体験コーナー、クイズ、郷土芸能演舞会とDVD上映を行った。

日 時 令和4年11月3日(木・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、エントランスホール)

観覧者数 常設展示…91人 企画展示…91人

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、亙理町指定無形民俗文化財の「亙理枅取り舞」を保存会員とともに吉田小学校3年生3名が披露し、演舞会後半には餅撒きを実施した。終了後、亙理町指定無形民俗文化財「牛袋法印神楽」のDVD上映を行った。

◎チャレンジクイズ

常設・企画展示室内の資料を基にしたクイズに挑戦し、正解した方にオリジナルクリアファイル(史跡三十三間堂官衙遺跡国指定30周年記念デザイン)をプレゼントした。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①ぬり絵をやってみよう
- ②紋切り(切り紙)をやってみよう
- ③昔の遊びをやってみよう
- ④土器にさわってみよう



▲郷土芸能演舞会「亙理枅取り舞」の様子



▲昔の遊びを体験する児童

〔5〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町の歴史への理解を深め、文化財保護意識を高めるために、町教育委員会が実施している。町内の文化財と郷土資料館を希望校の小学6年生(10クラス259人)と教職員15人が、郷土資料館職員の解説を聞きながら見学・学習した。感染症対策のため、見学箇所を減らし、郷土資料館見学を各学校の教室で映像やスライドによる学習に変更した。※荒浜・高屋小学校は、郷土資料館を見学する通常コースで実施。



▲教室での学習の様子



▲見学の様子 亙理伊達家歴代墓所

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亙理小学校	3	101	5月25日、26日、6月1日
荒浜小学校	1	8	5月13日

学校名	学級数	見学人数	見 学 日
吉田小学校	1	14	6月 2日
長瀬小学校	1	22	6月15日
逢隈小学校	3	102	5月12日、18日、6月8日
高屋小学校	1	12	6月 9日

2. 修学旅行・社会見学

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
4/22	北海道伊達市立光陵中学校	100	修学旅行での見学
11/4	亘理町立荒浜小学校 3年生	17	社会科授業での見学
11/15	亘理町立亘理小学校 6年生	18	

3. その他

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
8/3	亘理町内配属新任教職員	7	町内文化財めぐりの一環

〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第160号～第163号

広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を4・7・10・1月の年4回発行。

〔7〕 博物館実務実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月18日(木)～8月24日(水)の5日間

実習生 尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類4年生1人
東北学院大学文学部歴史学科3年生1人 計2人

実習内容 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学庶務管理及び運営について(講話)、
教育普及活動について(講話)、「学校ミュージアム」の実際
2日目：文化財保護行政について(講話)、文化財めぐり、資料の収集、
計測、保管作業、資料のクリーニング作業
3日目：教育普及活動について・ワークショップの準備、
受付、講師補助、製作体験等、被災資料について(講話)
4日目：埋蔵文化財保護行政について・考古資料の取り扱いについて(講話)、
資料整理、くん蒸済資料の整理作業等
5日目：企画展示の立案・展示方法について、資料のピックアップ、
企画展示作業、展示解説、実習のまとめ

〔8〕 震災伝承施設事業

3. 11から未来へ「わたり復興の歩み」上映会

震災の記憶を風化させず、教訓を伝え、命を守る行動につながる機会となるよう、悠里館1Fのエント

ランスホールで、発災直後から10周年の令和3年3月11日に開催された合同追悼式までの復興過程を収めた映像を上映した。

期 間 令和4年5月11日(水)～令和5年3月11日(土)

日 時 毎月11日(休館日を除く：開催月5、6、9、10、11、12、1、3月)

鑑賞者 129人

〔9〕 その他

1. 講師派遣

◎まちづくり出前講座(ございんの会)

8月29日(月) 箱根田東集会所

講師：技師 森田健太郎 テーマ：「江戸時代の荒浜」

◎まちづくり出前講座(あづまっせ！鳥屋崎)

9月17日(土) 鳥屋崎公会堂

講師：技師 森田健太郎 テーマ：「江戸時代の荒浜」

◎亘理郷土史研究会地区委員研修会

10月18日(火) 亘理町中央公民館 視聴覚室

講師：技師 森田健太郎 テーマ：「歴史から学ぶ亘理の災害」

◎史跡巡りウォーク(吉田西部地区まちづくり協議会)

12月 3日(土) 亘理町吉田西部地区内

講師：副参事 鈴木朋子 テーマ：「吉田西部地区の史跡・遺跡を巡る」(現地説明)

◎まちづくり出前講座 (亘理町シルバー人材センター「ちょこっと study カフェ」)

令和5年1月25日(水) 図書館視聴覚ホール

講師：技師 森田健太郎 テーマ：「伊達成実の生涯と亘理」



▲史跡巡りウォークの様子

2. 視察研修等の受入れ

◎仙台藩志会「伊達学習塾－歴史探訪会」 令和4年 9月24日(土) 44人

◎放課後デイサービス グレイス岩沼 令和4年10月15日(土) 11人

◎仙台市泉南地区 民生委員 児童委員協議会 令和4年10月23日(日) 21人

◎おいで歩美会 令和5年 2月 4日(土) 10人

※ほか団体視察研修等多数

5 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は令和4年度新規収蔵資料

(1) 考古資料：118点

常設展示展示資料：114点

※このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 合計 5,287(72)品目 14,389(181)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料: 1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～令和4年度)の収集資料: 4,257品目 12,607点

《平成6～令和4年度収集資料分類内訳》

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,636	7 民俗知識	1,949	12 亙理伊達家・家中	141
2 生産・生業	838	8-1 民俗芸能	11	13 軍事・戦争	412
3 交通・運輸・通信	381	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,602	14 文書・書籍・地図	1,442
4 交易	2,162	9 人の一生	161	15 美術	737
5 社会生活	773	10 年中行事	168	16 その他	74
6 信仰	118	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 合計 560(1)品目 1,172(1)点

写真: 506(1)品目 860(1)点 映像・音声: 17品目 271点 絵・図: 39品目 42点

(4) その他(化石など) 9品目 83点

(5) 教育普及用 6(1)品目 10(1)点

(6) 参考資料 3(3)品目 5(5)点

2. 寄贈資料

11人 3団体 77品目 188点 品目、点数の()内の数字は参考資料

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	赤松 儀郎	亙理町(桜小路中)	伊達政宗書状 五郎(成美)宛て	1	1
2	今村 善一	亙理町(駅前西)	脚絆(革製)	1	1
3	陰山 俊明	亙理町(上町南)	幣帛覚帳 ほか	2	4
4	菊池 すみ子	亙理町(鷺屋)	青麻講具	1	1
5	齋 清文	亙理町(早川)	逢隈小学校奉安殿者孫ほか	10(2)	12(2)
6	齋藤 秀子	亙理町(館南上)	『宮城県文化財調査報告書第51集 宮城県民俗分布図』	1	1
7	佐藤 裕子	亙理町(十文字町)	一斗杓 ほか	2	5
8	真 光 寺	亙理町(鹿島)	写真アルバム	1	1
9	鈴木 辰男	亙理町(南町南)	写真帖 ほか	4	9
10	鈴木 伸男	仙台市	家相方位之図 ほか	39	116
11	鈴木 光範	亙理町(柴町)	切手ブック、図書ほか(道祖神関係)	10(1)	31(3)
12	亙理小学校PTA	亙理町(下小路)	姉妹交流40周年記念クリアファイル	1	1
13	蕨 区	亙理町(蕨)	薬師十二神御開扉大祭資料	3	4
14	個人	仙台市	吉田村文書	1	1

〔2〕 寄託資料

亙理忠儀記(亙理町指定文化財)

上町 菊地家 所蔵

伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点

武田信一・厚志氏 所蔵

短冊ほか 113点

岡元継男氏 所蔵

脇差1点・刀1点

東條勝雄氏 所蔵

刀2点

武者 司氏 所蔵

享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点

山形節子氏 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亙理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

実物資料 5件 14点

No.	貸出先	利用目的	資料名	点数	貸出日・期間
1	個人	調査研究	石巻市文化財調査報告書第16集(2分冊) 気仙沼市文化財調査報告書第26集(2分冊)	2組	6.4～6.17
2	個人	調査研究	蔵王町文化財調査報告書第26集 第1分冊～第6分冊	1組	6.17～7.15
3	東北歴史博物館	特別展「欲望の昭和～戦後 日本と若者たち～」展示	ガンダムプラモデル	3	6.22～ 10.31
4	亶理保育所	稲の脱穀体験	足踏み脱穀機	1	10.14～10.19
5	亶理甲冑愛好会	紙甲冑展示	紙甲冑(1点) のぼり旗(6点)	7	R5. 2.28～ 3.31

写真資料 7件 17点

No.	貸出先	利用目的	資料名	点数	貸出日・期間
1	株式会社岩波書店	中島国彦『森鷗外 学芸の散歩者』で掲載	森鷗外「北條霞亭」直筆原稿 写真	1	6.10
2	宮城県仙台管内小学校 校長会	宮城県仙台教育事務所管内 小学校長会 会誌37号で 掲載	伊達成実霊屋(2枚) 伊達成実霊屋御開帳(1枚) 成実公木像彩色甲冑像(1枚)	4	7.27
3	個人	小学校社会科「わたしたちの 宮城県」デジタル教材	展示物全般	1式	9.16
4	NHK	NHKワールド JAPAN 番組 “NEWSROOM TOKYO”	赤貝の共同出荷 昭和10年頃上蒨の様子	2	11.1
5	亶理町教育委員会	令和5年度版 小学校社会 科副読本「わたしたちの亶 理町」で掲載	亶理駅(3枚)、役場庁舎、 蒸気機関車(明治30年)、 トテ馬車(昭和3年)、 小山の渡し船(昭和60年代初め)	7	12.12
6	株式会社ユーメディア	『宮城県制150周年記念 誌』で掲載	荒浜港写真	1	R5. 1.27
7	株式会社ユーメディア	『宮城県制150周年記念 誌』で掲載	潮干狩り写真	1	R5. 2.13

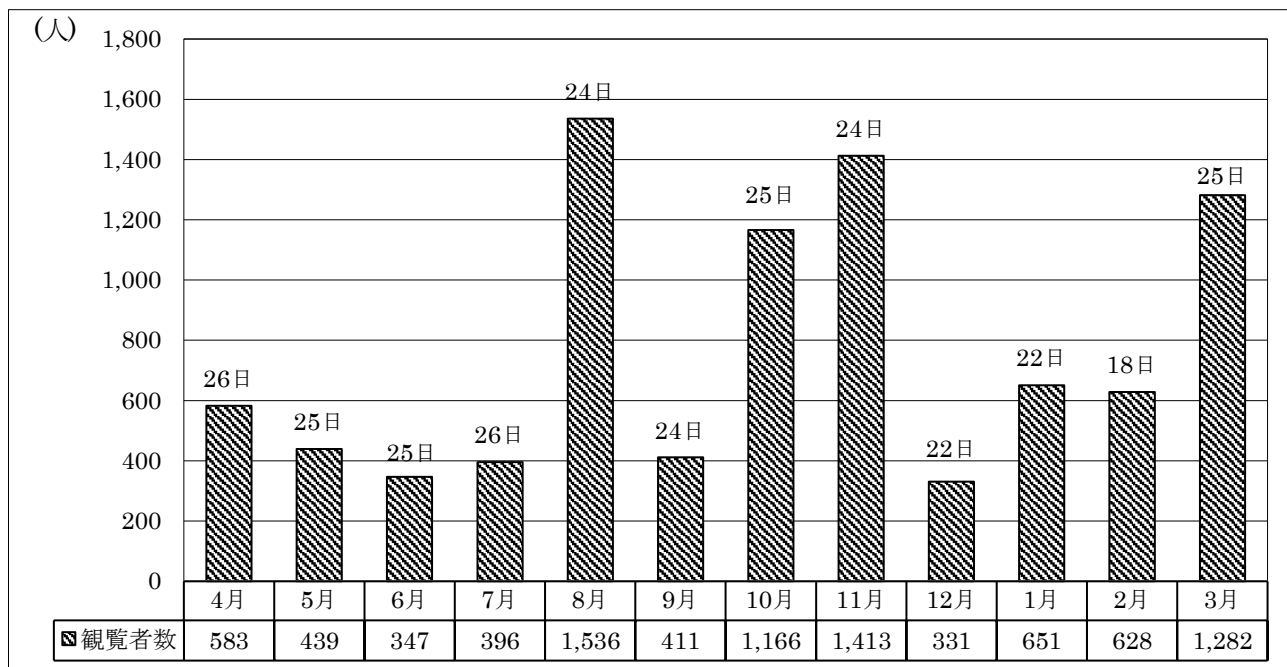
〔5〕 その他

収蔵資料を適切に保管・管理するため、館内くん蒸庫を使用し、委託業務により被災資料、収蔵資料(民具・古文書等)のくん蒸を2回行った(8月24日～26日、11月16日～18日)。また、令和4年3月16日に発生した福島県沖地震で傾斜、ねじれ、ずれが生じた収蔵庫3の棚をより強度の高いものに入れ替え、加えて落下防止ネットの設置など耐震性の強化を図った(令和3年度繰越事業)。

6 観覧者数の推移

〔1〕 令和4年度月別観覧者数

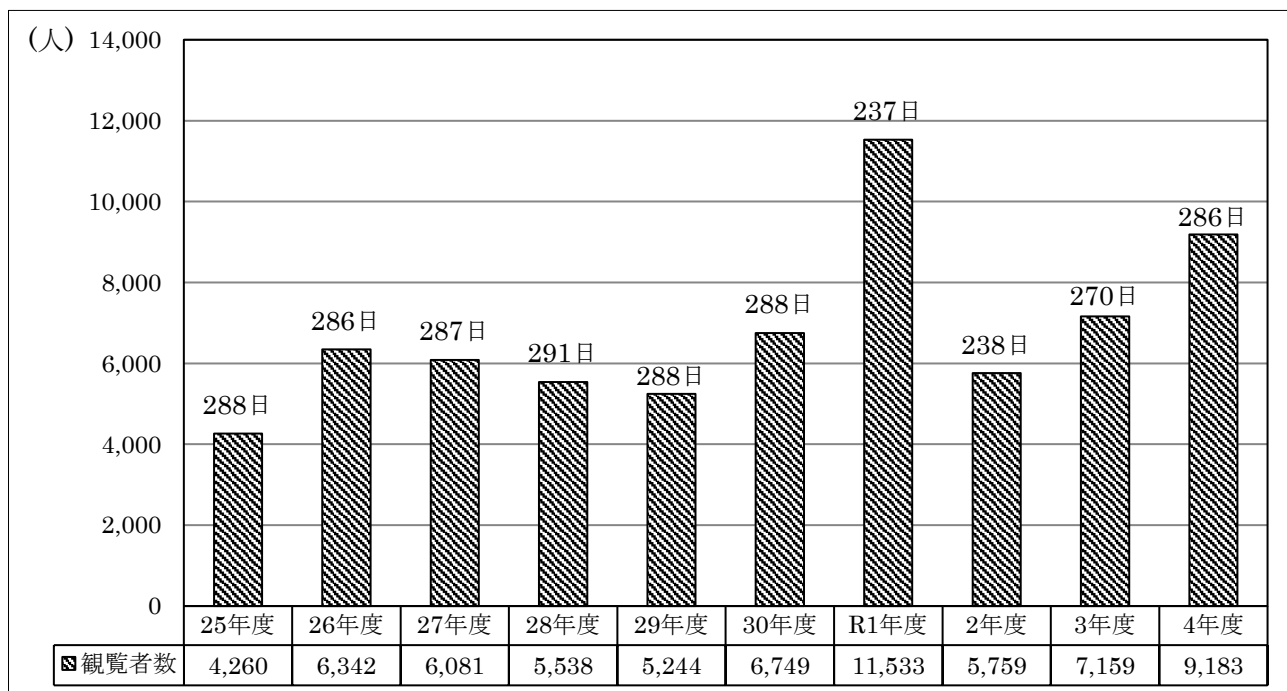
総観覧者数：9,183人（開館日数：286日 1日平均32人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：225,114人

平成25年度～令和4年度観覧者数の推移



7 予算

郷土資料館費

予算額 10,100,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

8 職員名簿

【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	齋藤伸	R 2. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	
文化財班長	武田恵美	H24. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	学芸員
副参事	鈴木朋子	H18.10. 1 ~ R 5. 3. 31	学芸員
主事	橋本和樹	R 1.10. 1 ~ R 5. 3. 31	
技師	森田健太郎	R 3. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	学芸員

9 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

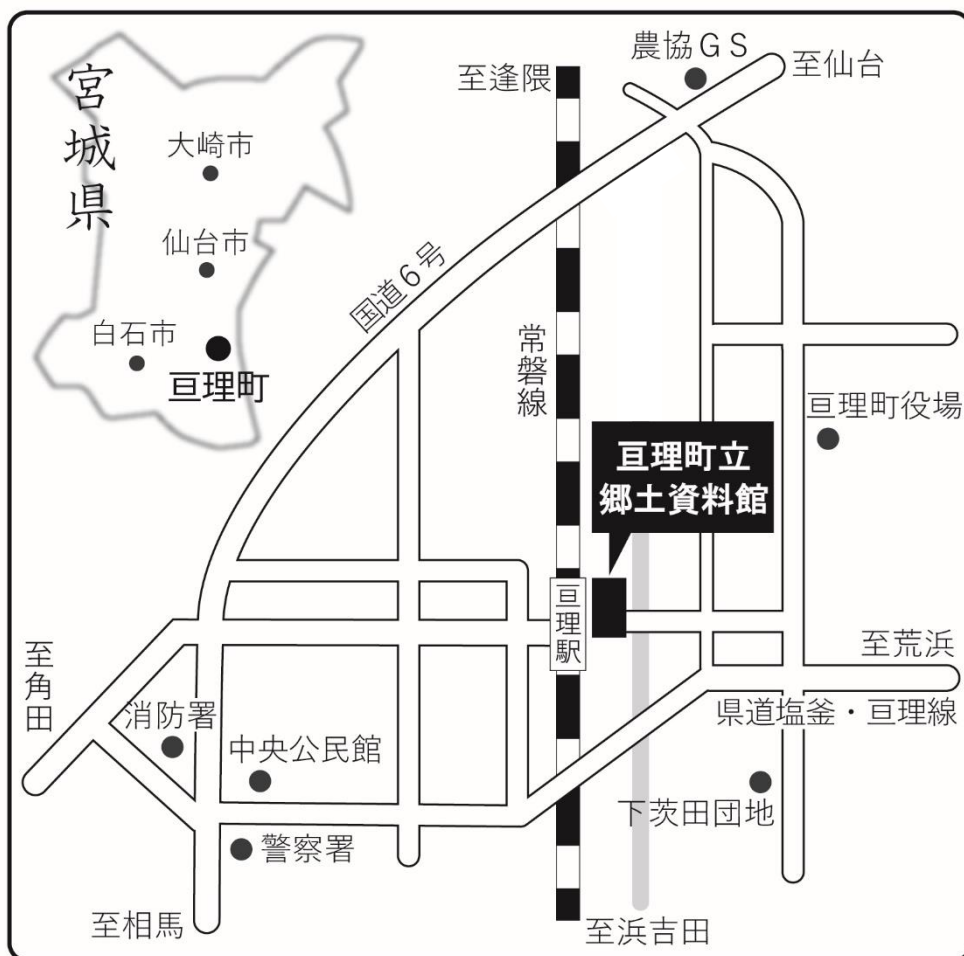
〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日(一部特別開館日を除く)
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・特別整理期間(令和5年2月14日～17日)

〔3〕 観覧料

- ・常設展示 無料
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 位置図



亶理町立郷土資料館年報 第25号
令和4年度

令和5年7月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地
TEL(0223)34-8701
FAX(0223)34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
